

# 新年のごあいさつ



糸魚川市長 米田 徹

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年12月22日に発生した「駅北大火」から1年が経過しました。

被災された皆様には、改めてお見舞いを申し上げますとともに、発生以来、多くの皆様から物心両面にわたってご支援をいただき、厚くお礼を申し上げます。

昨年8月の「復興まちづくり計画」策定後、被災地では、住宅、店舗の再建をはじめ、市道の拡幅や復興まちづくり情報センターの開設など、復興に向かって力強く歩み始めています。大火を通じて、人の心の温かさや強い絆を感じたところであり、皆様のご支援に応えるためにも、1日も早く復興を成し遂げなければいけません。

今後も被災された皆様に寄り添い、災害に強く、大火の前より賑わいのある、そして、糸魚川市全体がいつまでも住み続けられるまちとなるよう、一生懸命、復興に取り組んでまいります。

また、去年は、豪雨や台風により、市内各地で地すべりや堤防の損壊などが多数発生しましたことから、今後も市民の皆様の生命・財産の確保を最優先に、防災・減災対策の取組を一層推進してまいります。

一方、北陸新幹線開業に続く、当地域の悲願であります地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」につきましては、昨年、一部の区間においてルート帯が決定いたしました。

松糸道路は、災害時の救援ルートとしての役割をはじめ、姫川港を拠点とした物流強化、新幹線を活用した広域観光の推進など、地域振興に大きく寄与するものであります。当市のさらなる発展と駅北大火の復興を後押しするためにも、関係機関と連携を深め、整備促進に努めてまいります。

結びに、当市は大火からの復興の他にも、人口減少や少子高齢化、中山間地域集落の維持存続など、課題が山積していますが、世界ジオパークや国石ヒスイなどの地域資源を最大限に活用して、交流人口の拡大や移住定住の促進に取り組み、持続可能なまちづくりにつなげてまいります。

皆様には、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が健やかで幸多き年となりますようご祈念を申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

本年もよろしく願い申し上げます。